5 聖蹟桜ヶ丘周回コース

★☆☆ 初級　行程：約6.8km

A 聖蹟桜ヶ丘駅 START → 約1.5km → B 清水渓緑地 → 約1.0km → C 桜ヶ丘公園 → 約2.1km → D 熊野神社 → 約0.3km → E 原峰公園 → 約1.1km → F いろは坂 → 約0.8km → G 聖蹟桜ヶ丘駅 GOAL

宇宙桜が植わる桜ヶ丘公園から原峰公園を抜け、アニメの風景へ

「聖蹟」とは天皇が行幸された場所のことです。桜ヶ丘公園のある多摩市連光寺の周辺は、明治から大正半ばまで皇室の御猟場で、明治天皇もこの地を訪れ、兎狩りや多摩川での鮎漁を天覧されています。桜ヶ丘公園にはそれを記念して昭和5（1930）年に建てられた多摩聖蹟記念館（現在は「旧多摩聖蹟記念館」）があり、聖蹟桜ヶ丘駅の名もこうした歴史にちなみます。

丘陵は多くが宅地化されていますが、桜ヶ丘公園と原峰公園は起伏のある地形に雑木林が広がり、かつての里山風景をとどめ、さまざまな野鳥や昆虫、野草と出会うことができます。桜ヶ丘公園ではボランティアにより雑木林の再生保全や田んぼづくりなど、里山の自然と文化を守る取り組みが行われています。同公園はサクラも見事ですが、ここには国際宇宙ステーションに滞在した「宇宙桜」の苗5本も植樹されています。

このコースは、聖蹟桜ヶ丘駅から多摩丘陵に広がる2つの里山公園、桜ヶ丘公園と原峰公園をめぐり、再び聖蹟桜ヶ丘駅に戻ります。また、コースの後半は、スタジオジブリのアニメ作品「耳をすませば」のモデル地とされているところです。

⑯ いろは坂桜公園

いろは坂を下ったところにあり、聖蹟桜ヶ丘駅周辺の街並が望める。モノクロ写真はいろは坂からほぼ同じ方向を眺めた昭和37（1962）年の写真。奥は多摩川で右に関戸橋、左に京王線鉄橋が見える。

⑮ いろは坂

U字カーブが4つ連なるつづら折りの道。それを縫うように階段が設けられており、人はそれを上り下りする。

⑭ 金毘羅宮

このあたりは天守台とも城山ともいわれ、中世の物見台的な城塞があったとされる。

⑬ 桜ヶ丘浄水場先からの眺望

この付近は丘陵の尾根筋にあたり眺望が開ける。これは浄水場先から桜ヶ丘公園方向の眺め。ここから大栗川までは「耳をすませば」の風景が続く。

⑫ 桜ヶ丘ロータリー

原峰公園を児童館前のせせらぎから北西に出て、2つ目の四つ角を左折すると桜ヶ丘ロータリーに至る。「耳をすませば」の舞台でもある。ここからは郵便局（写真左上の白い建物）を左に見る道を進む。

① 大栗川・霞ヶ関橋下流

聖蹟桜ヶ丘駅から霞ヶ関橋までは往復同じ道を歩く。往きはこの橋から左岸の遊歩道を下流へ進む。「耳をすませば」にも登場するところである。

② 対鴎台公園

明治天皇行幸の地を記念して、かつて天皇にゆかりのある建物（対鴎荘）が移築されてあった場所。清水渓緑地へは坂途中の公園入口前の道を入る。

③ 清水渓緑地

崖下にあり渓谷の雰囲気をしのばせる。緑地を出ると道路を渡り、坂道の記念館通りを進む。

④ 桜ヶ丘公園の田んぼ

若宮八幡の鳥居を過ぎて50mほどで記念館通りと分かれ、道なりに進むと左手に田んぼがある。ボランティアの手で復元したものである。

⑤ ちょうの道（兎平）

森林総合研究所多摩試験地を右に迂回して進むと芝生の広場に出る。ここから先はずっと桜ヶ丘公園。雑木林に入り「ちょうの道」を大松山の頂上をめざして上る。

⑥ 旧多摩聖蹟記念館

大松山の頂上に建つ。円形の建物の内部には明治天皇騎馬像や幕末明治の政治家の書画などが展示され、喫茶室もある。4月上旬頃には周囲のサクラが見頃となる。

⑩⑪ 原峰公園

熊野神社から旧鎌倉街道を約300m行くと入口がある。雑木林に覆われた園内は思いのほか高低差が大きく、谷に木橋が架かる。

⑧ 乞田川・熊野橋上流

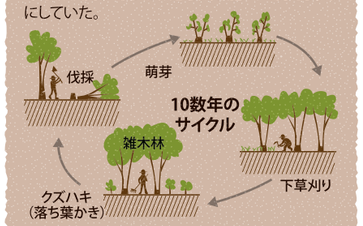
ひじり坂を下り切ったところで乞田川と出合う。この川は大栗川に合流し多摩川に注ぐ。川沿いに桜並木がのび、4月上旬頃は美しい。写真は、南田橋から上流側を望む。

⑨ 熊野神社

旧鎌倉街道に面して建つ。この参道脇に鎌倉時代に設けられた関所跡（霞ノ関南木戸柵跡）がある。

らべる Study 雑木林と萌芽更新

里山の雑木林は村人の伝統的な暮らしによって維持されていた。クヌギ、コナラなどの広葉樹は、根元を残して伐採すると切り株から芽が出て再び生長する。この性質を利用し、雑木林を10数区画に分けて10数年ごとに順繰り更新していた。この手法を萌芽更新といい、こうすることでいつでも薪や炭が得られ、落ち葉を肥料に使えるようにしていた。



⑦ こならの丘を望む

桜ヶ丘公園は雑木林に覆われた5つの丘が連なる。正面左手が「こならの丘」で、ここではボランティアにより雑木林の再生保全がはかられている。